

学術情報センターだより

Library and Information Technology Center, Nagoya Women's University

本は人生の友になる

小出あつみ（生活環境学科・家政経済学科長）

私の研究室と自宅は、常に本に囲まれています。研究室と自宅にある本の種類は異なり、研究室にある多くの本は授業や研究に必要な本です。私と同じく大学の教員をしている同級生が「教員にとって本は財産」と言っていたのですが、的を射た言葉だと思います。本学では、学園創立100年を迎えた節目に新しい図書館棟が建てられました。図書館には多くの本が所蔵されており、学修e-ポートフォリオなどを使用した予習・復習に役立つ資料や設備が整っています。また、学習のための個人席とディスカッションも可能なラーニング・コモンズは、多様なスタイルでの学習に対応しており、私の学生時代と比較して羨ましい学習環境です。私も必要な資料探しなど、現在は大いに図書館を利用させて頂いています。

さて、仕事で使用する専門書に対して自宅にある本や日頃持ち歩いている文庫本は、仕事に関係がない小説やミステリーがほとんどです。ある意味ストレス対処法としての私の読書ですが、本に書かれている世界は経験できない環境であったり、時には忘れていた思い出だったりします。2年ほど前、私は書店で高校の後輩が書いた本を見つけました。面白そうなので購入して読んだところ、ヒロインが自分に気合を入れるために飲み物やチューイングガムの上に八幡屋儀五郎の七味唐辛子をたっぷり振って食べる（飲む）シーンが

何度も出てきました。八幡屋儀五郎は長野市で約270年以上続く七味唐辛子の老舗です。私の出身高校は善光寺の参道を昇りつめ、左側の道を昇り進んだところにあるため、善光寺の参道は高校時代の通学路であり、参道の店でお土産用に売られている七味唐辛子は懐かしい故郷の味です。さすがに飲み物に入れたり、チューイングガムの上に振って食べたことはありませんが、暫し、タイムスリップして長野の風景を思い出しました。その後、この本はテレビドラマ化されており、後輩の活躍を嬉しく思っています。また、最近読んだ本では「ラストレシビ麒麟の舌の記憶」が印象に残っています。第二次世界大戦の時代と現代が交差しながら進むストーリーで、作者は「料理の鉄人」というかつての人気番組のディレクターだった人です。料理がテーマではありますが、戦争を背景とした人々の人生が語られており、私の中のヒット作品です。

本は専門知識を深めるために重要ですが、仕事を離れた時に読む本も多様な疑似体験ができ、時には勇気を奮い起こしてくれます。学生の皆さんには、ぜひ図書館で過ごす時間と読書の習慣を生活の中に組み込んでいただきたいと希望します。本は皆さんの人生の助けとなり、必ず生活を豊かにしてくれる友になりえると思っています。

◎ 目 次 ◎

巻頭言 本は人生の友になる.....	1
図書館サポーター活動報告 G3【Girls of Three】×ジュンク堂書店女子大コラボフェアを開催しました	2～3
平成28年度学術情報センター利用者アンケート結果報告	4～5
「絵本おはなし会」の活動報告	6
CaLabo ポートフォリオ機能導入	7
図書館蔵書検索画面リニューアルのお知らせ.....	7
お知らせ.....	8

ジー・スリー
図書館サポーター活動報告 **G3【Girl of Three】×ジュンク堂書店**

平成29年2月18日(土)～3月20日(月)に、ジュンク堂書店ロフト名古屋店にて『春の読書旅』をテーマに女子大コラボフェアを開催しました。フェアにはたくさんの方に足を運んでいただくことができました。

これまでもG3【Girls of Three】では図書館サポーター活動報告やブックトークなどの交流会を開催してきましたが、今回は「書店連携展示」という大きなプロジェクトに挑戦しました。開催までの本学図書館サポーター【ちえりっぶ】の奮闘ぶりを紹介します。

Start

9月 【G3】サミット in 椋山学園大学

3女子大学【G3】で初めての交流会を開催しました。椋山学園大学の図書館サポーター【Libra Leave】の皆さんに図書館を案内していただき、素敵に彩られた館内や展示に【ちえりっぶ】も刺激を受けていました。最初は緊張気味でしたが、お互いの活動報告や、推し本のプレゼン、フリートークなど、図書館＆本の好きな女子大生同士で盛り上がりました。その中で「【G3】で何かプロジェクトを企画したい!」との意見があがりました。



女子大生らしいおしゃべりっぱいの和やかな会でした!



【G3】メンバーの推し本です♪



ジー・スリー

G3【Girls of Three】とは……

名古屋市内に3校のみある女子大学の図書館サポーターで平成28年度に結成した合同プロジェクトです。“【G3】サミット”として交流会や合同選書会を開催するなど活発に活動をしています。

《【G3】member》

- 名古屋女子大学 : ちえりっぶ
- 椋山学園大学 : Libra Leave
- 金城学院大学 : LiLian

10～11月 選書・交流会の企画立案

【G3】での初の合同企画である選書会・交流会の開催に向け、各大学のリーダーを中心に打ち合わせを重ねました。また、この機会に「地域の読書活動へも貢献していきたい」との意見があがり、選書会開催書店との連携展示企画も同時に計画を進めました。選書テーマの選定や交流会の内容検討・資料作成、書店さんとの調整など、学生が主体となって取り組みました。

11月 【G3】サミット in ジュンク堂書店ロフト名古屋

【G3】での合同選書会・交流会を開催し、【ちえりっぶ】からは10名での参加となりました。当日は、中日新聞とスターキャットテレビの取材が入り、名古屋の女子大生による読書の啓蒙活動として注目されました。

選書会

【G3】の選書テーマは『春からスタート!』とし、主に大学の新入学生となる高校生をターゲットとした選書を行いました。また、【ちえりっぶ】のサブテーマとして『桜』を追加し、名古屋女子大学らしさを加えます。児童教育学科や保育学科のメンバーは『桜』をテーマとした絵本や児童書を、食物栄養学科や家政経済学科のメンバーは『桜』に関するレシピや調理・文化に関する本などを中心に、それぞれの学科の特色を活かして合計72冊を選書しました。



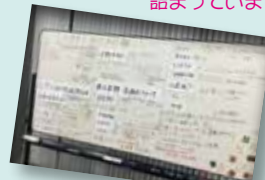
白熱した4時間が詰まっています!!



広い店内でおすすめ本を探します。選書会が11月でしたので『桜』の本を探すのが予想よりも難しかったです。

交流会

選書会後の交流会では、2月に開催する書店連携展示に向けた企画案の話し合いをしました。交流会の企画から当日進行まで、すべてを【G3】の各大学リーダーが中心となり準備を進めました。書店展示のメインテーマを『春の読書旅』とし、大学ごとのテーマカラー、推し本企画、帯やPOPなどの展示方法、看板やポスターなどの掲示物や、しおり・リーフレットの配布について、各大学の作業分担など、企画をまとめました。はじめは遠慮がちであったメンバーも、白熱する意見交換の中で積極的に発言ができるようになり、4時間超の交流会となりました。長丁場でしたが、交流会終了時には達成感で輝く笑顔が印象的でした!



長時間がんばりました♪



女子大コラボフェアを開催しました



1月 【G3】×CBCラジオ

CBCラジオ「北野誠のズバリサタデー」内の「環境探検隊が行く！」に出演。コラボフェア開催と選書したおすすめ本の紹介、読書との関わり方についてのインタビューを受けました。【ちえりっぶ】からは文学部児童教育学科4年の小林華子さん、渡邊真美さんの2名が参加しました。二人からは、「とても緊張したけれど、貴重な経験をさせていただきました」「女子大生による読書活動をPRする場をいただけて嬉しかった」との感想がありました。

2月 【G3】サミット in 金城学院大学



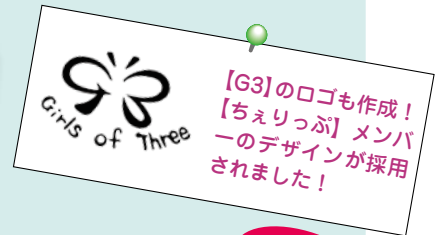
3大学で並べてみるとお互いの良いところ、もう少し工夫できるところが見えてきます。

書店展示の最終確認を兼ねた交流会を開催しました。金城学院大学の図書館サポーター【LiLian】のみなさんによる図書館見学ツアーやブックトーク会場で和やかになったところで、模擬展示に臨みました。それぞれの大学で担当した制作物を持ち寄り、実際の店頭に見立てた書架でレイアウトを確認します。お互いのPOPや帯、小物などから学びあうところも多く「当日までに更にブラッシュアップを！」とモチベーションがあがりました。また、模擬展示には毎日新聞の取材があり、大学生による読書推進活動への注目度が窺えました。

【LiLian】のみなさんの展示に興味津々です！



お茶とお菓子で和やかにブックトーク



Goal

2月18日～3月20日 ジュンク堂書店ロフト名古屋店コラボ展示「女子大コラボフェア春の読書旅」を開催



お持ち帰り用の栞やリーフレットも設置！



大学ごとのカラーができました。
【ちえりっぶ】は左端の一連です。



本に帯を巻いたりPOPや栞で飾ります！



3大学の展示を並べるとそれぞれの大学のカラーがあり、見ごたえのある展示が完成しました。金城学院大学【LiLian】はレースや小物使いで女子大生らしく華やかに、椋山学園大学【Libra Leave】はグリーン使いやデザインのスタイリッシュさが見事です。【ちえりっぶ】はサブテーマの『桜』とテーマカラー『空色』を使って空色の帯に桜の飾りを散りばめた、和風の展示が完成しました。また展示には選書した本から30冊を厳選し、帯もPOPも手書きでハンドメイド感を演出しました。【ちえりっぶ】メンバーからは「大変だったけれど達成感があった」「企画から開催まで学生自身で運営することで、特に他大学リーダーさんから学ぶところが多かった」との感想があり、今後も【G3】での活動を継続していきたいと意欲的でした。

参加メンバーのコメント

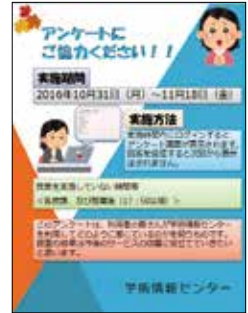
『読書する楽しさを知って欲しい。』そんな願いを持ち、私は他大学の図書館サポーターの皆さんとコラボフェアの企画を通して「仲間と協力して企画を成功させる楽しさ」を学びました。実際にジュンク堂書店に訪れた多くの方々が、展示した本や栞、パンフレットを見て下さりとても嬉しく思います。私はこの様な貴重な経験や周りの方々を支えて通して、自分自身を成長させることができました。これから先も、一人でも多くの人々に“本を読む楽しさ”を伝えていきたいと、思っています。

文学部児童教育学科児童教育学専攻4年 渡邊真美

平成28年度

学術情報センター

図書館棟設立から一年半が経過し、図書館、コンピュータ自習室（以下、PC自習室）ともに利用が浸透してきました。一層魅力的な施設にするため、平成28年度も10月31日～11月18日に学生対象アンケートを実施しました。多数の回答をいただきありがとうございました。アンケート結果と今後の改善計画について報告します。



❖利用者アンケート 実施要綱

実施期間：平成28年10月31日(月)～11月18日(金)

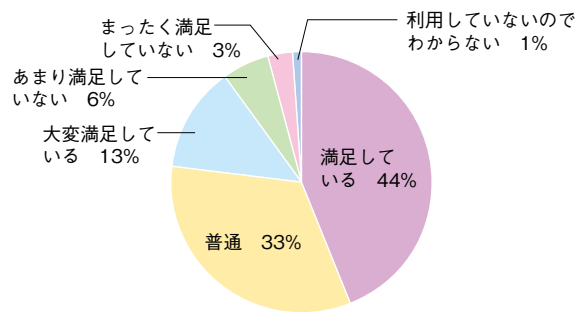
実施方法：学内パソコンでのオンラインアンケート

回答数：330名（文学部102名、家政学部131名、短期大学部95名、大学院2名）

❖選択式設問の回答と考察

新図書館、新PC自習室に満足していますか？

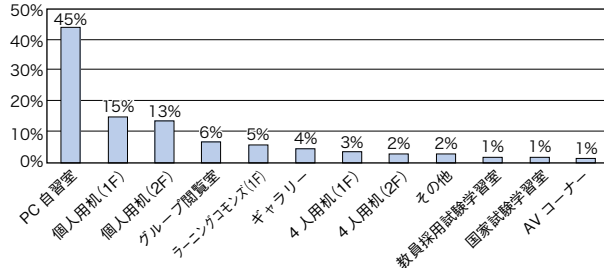
大変満足／満足の回答は昨年度同様に全体の半数を占めており満足度は昨年度とほぼ同様でした。「利用していないので分からない」は1%に減り、大きく利用が浸透してきたようです。



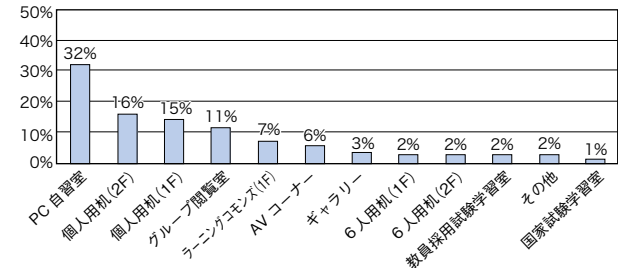
図書館施設でよく利用する場所やお気に入りの場所を選んでください

PC自習室の利用が突出していますが、グループ閲覧室やラーニングcommons、AVコーナー等の回答が昨年度より上がっており、各エリアの認知度が高まってきたと思います。特にグループ閲覧室はノートパソコンを利用したグループ学習にも使えますので、是非活用してください。

(平成27年度)



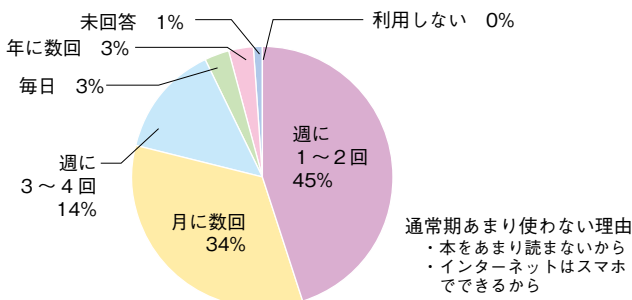
(平成28年度)



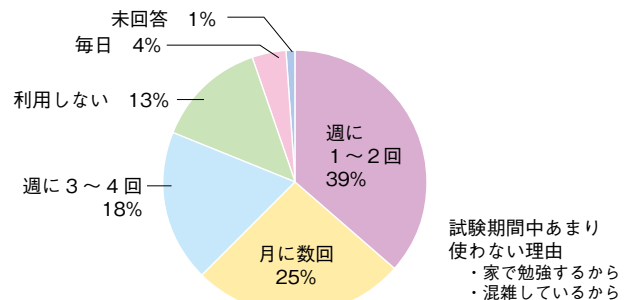
利用頻度を選んでください。

通常期と試験期間中の利用頻度、及び頻度の少ない利用者には理由を尋ねました。期間を問わずほぼ定常的に利用されていることが分かった一方、試験期間中の方が「利用しない」割合が高いという意外な結果も出ました。利用しない理由を見ると、混雑している故に敬遠されている面もあるようです。学術情報センターWEBサイトでは、パソコンの空き状況を表示していますので、事前に確認した上で、利用することができます。空き状況は、曜日や時間帯により異なりますが、概ね朝の方が空いています。

通常期(7月/1月以外)の利用頻度を選んでください。



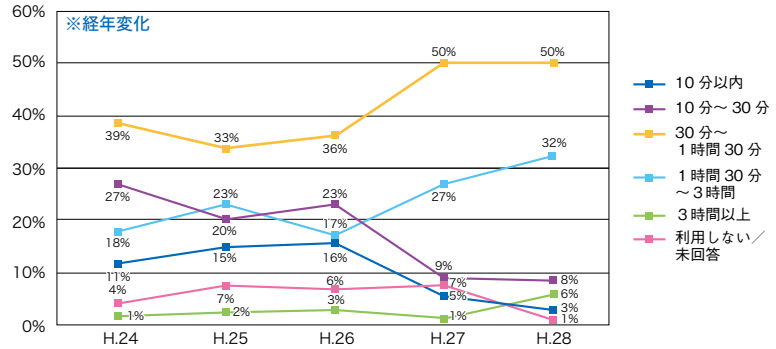
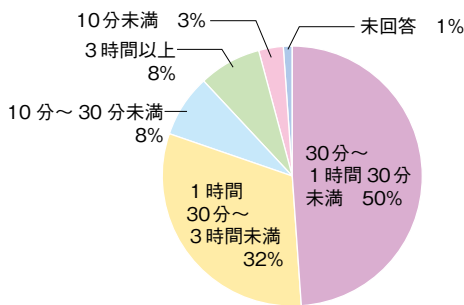
試験期間中(7月と1月)の利用頻度を選んでください。



利用者アンケート結果報告

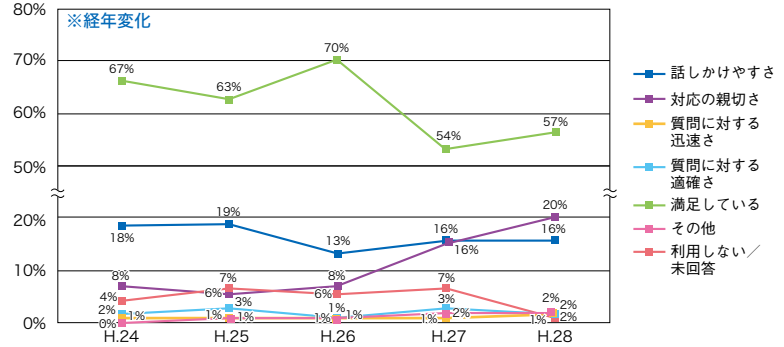
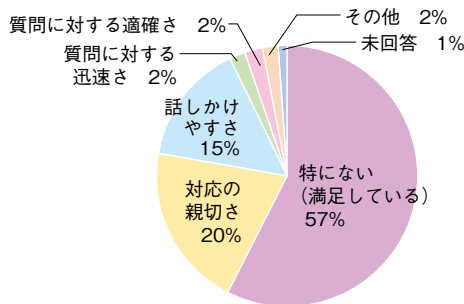
1回あたりの利用時間はどのくらいですか？

昨年に比べると「1時間半～3時間」「3時間以上」がそれぞれ5ポイントずつ増えていました。新図書館になってから長時間利用者が増えているようです。今後も学生皆さんにとって居心地のよい環境となるよう、環境整備していきたいと思えます。



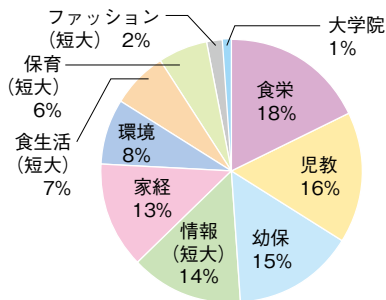
職員の対応で、特に改善が必要なものは何ですか？

昨年度同様、満足している方が半数を超えました。今後も一層の満足度向上を目指して、改善していきます。

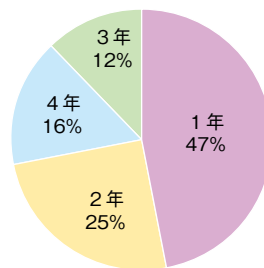


❖回答者の学科・専攻コース、学年

該当する学科・専攻コースを選んでください。



該当する学年を選んでください。



❖自由記述設問の回答と考察

自由記述では、PC自習室の機器不良、ノートパソコン貸出サービス、カンパセーションサロンの声漏れなどについて意見をいただきました。これらは下記の通り改善していきます。

【PC自習室における機器不良】

PC自習室でマウスなどの機器が放置されているとの指摘を受け、春休みに一斉点検を実施し、不良機器を交換しました。今後も不具合など見つけた場合は、速やかに図書館カウンターに連絡してください。

【ノートパソコン貸出サービスについて】

貸出時間を延ばしてほしいとの声をいただきました。利用状況を調査し、貸出し時間の延長を検討していきます。

【ラーニングcommons付近の音漏れ】

ラーニングcommonsの音漏れに関する意見を受け、平成29年度からカンパセーションサロンは「グループ閲覧室1」で開催することとなりました。なおラーニングcommonsはグループワークできる空間ですが、2FのPC自習室なども同様、共同利用スペースのため他の利用者への配慮もお願いします。皆さんで、居心地のいい図書館となるようはぐくんでいきましょう。

「絵本おはなし会」の活動報告



図書館では、平成28年度学生による地域貢献活動として「絵本おはなし会」を開催しました。「絵本おはなし会」では近隣の子どもたちを対象にして絵本の読み聞かせ、手遊び、ワークショップ等を行い延べ151人の方に来館いただきました。

図書館施設および所蔵資料を活用して、学生の学修機会を創出し活動支援をすることで、主体的学修能力を醸成し、ボランティア活動に関わることで奉仕の精神を養う機会にもなっています。

○絵本おはなし会

平成28年度は、8月29日(月)・10月1日(土)・12月17日(土)・29年2月4日(土)の計4回。小さな子どもたちが参加しやすい10:00～11:00の時間で開催しました。回を重ねることで「絵本おはなし会」が地域に浸透し、毎回楽しみに参加してくださる方、お友だちを誘って来館くださる方、また週末開催のためお父さんやおじいちゃん・おばあちゃんご家族での参加もあり、広く名古屋市外からも参加いただき盛況に開催することができました。

HOP



先生から絵本読み聞かせのための事前レクチャーをいただき、自分が担当する絵本の読み聞かせ練習をして、当日を迎えます。

STEP



お客さんいっぱい来てくれるかな？ おはなし聞いてくれるかな？ ドキドキしながら来場者をお迎えしました。

JUMP



たくさんのお客さんにやる気もUP！ 全体での手遊びや大型絵本の読み聞かせを行った後は、子ども達の選んだ絵本を1対1で読みかかせしました。

絵本おはなし会 特別講演会開催

1月28日(土)13:00～15:00 南4号館105教室において絵本おはなし会特別講演会を開催しました。講師を本学卒業生であり、愛知県立豊橋特別支援学校教諭である杉浦明日香先生に依頼し、「読み聞かせのもつ不思議な力」と題して現場事例を通した読みかかせの方法について講演いただきました。教育現場の最前線におられる杉浦先生からのお話により、参加学生からも熱心な質問が上がり、卒業後の就業への意識向上にもつながる講演会となりました。


紹介頂いた絵本と参加学生の声を図書館に展示しました



参加学生の声

- ・学校の教科書だけでは教えられない、絵本のことを深く学ぶことができた。ぜひ教育現場で活かしていきたい。
- ・子どもたちが何に興味をもっているかを考えて読み聞かせを行う。子どもの成長のために保育者も成長できることを聞き、読み聞かせを大切にしたいと思った。

講師紹介 杉浦 明日香氏
 (名古屋女子大学家政学部児童教育学科20回卒業生)
 岡崎子どもの本研究会会員・愛知県立豊橋特別支援学校 司書教諭
 講演活動：愛知県肢体不自由研究会研修「読み聞かせの基礎講座」講師、
 学校図書館研修会講師 等



CaLabo ポートフォリオ機能導入

○学修ポートフォリオとは

今年 3 月、本学で導入している LMS：学習管理システム（CaLabo）にポートフォリオ機能が追加されました。これまで CaLabo には課題提出や簡単なテストを実施できる機能がありました。

それに加えて、今年度から学生の皆さんは図 1 のような日々の学修記録の蓄積、授業科目毎の自己評価・理解度の把握を CaLabo 上でできるようになります。昨年度も学部によって冊子で学修ポートフォリオの提出をしていました。冊子を電子化するメリットとして、紙の印刷費用削減だけでなく、授業を担当する先生も授業を受けている学生の学修状況をよりリアルタイムに把握できるようになります。

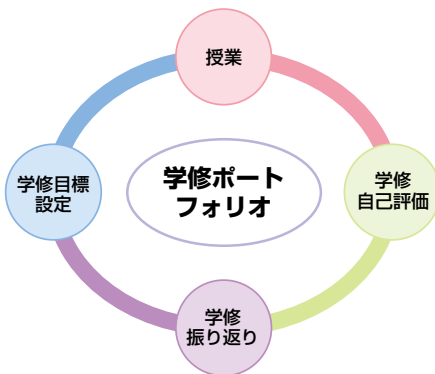


図 1 学修サイクル

4 月に入学された新入生の皆さんは、大学 4 年間、短大 2 年間の学修記録を残すことが可能になります。この記録は就職活動時のエントリーシート作成などで学業を振り返るための資料としての役割ももちます。ポートフォリオはインターネット環境さえあれば利用できますし、モバイルにも対応しています。普段使用しているスマートフォン^{*}からも、学修記録を入力することができます。ポートフォリオの入力方法で分からない場合は、学術情報センターホームページに、手順書を公開していますので、一度見てみてください。



※一部、未対応の機種があります。詳細はログイン画面を確認ください。

図書館蔵書検索画面リニューアルのお知らせ

図書館の蔵書検索（OPAC）の検索画面をリニューアルしました。絞り込み検索や目次の表示、データベースの一括検索など便利な新機能が追加されています。ぜひ新しくなった OPAC を活用し、皆さんの学習に役立ててください。

■【学術情報センター WEB サイト→図書館資料を探す】をクリックすると、下の画面に移動します。



- ① 検索したいキーワードを検索ボックスに入力して検索ボタンをクリックします。タブの切り替えで検索先を変更することで、本学蔵書検索の他、CiNii、国立国会図書館、他大学所蔵などの資料を検索することができます。
- ② 個別のデータベース一覧に移動します。JapanKnowledge・聞蔵Ⅱ・J-DreamⅢなどを、個別に利用したい場合はこちらから利用してください。
- ③ ディスカバリーサービスの検索 BOX です。データベースを一括検索し、図書・雑誌・論文・電子資料など、多様な資料の検索ができます。
- ④ 学内パソコンを利用する際の ID とパスワードを入力することで、マイライブラリー機能や学外からのデータベース検索が可能になります。

■タブの本学所蔵を選択して検索すると、書影のついた一覧が表示されます。



- ① 出版年・関連度など検索結果を並べ替えることができます。
- ② 検索結果を、資料種別・出版年・言語・件名（キーワード）・著者名などで絞り込むことができます。
- ③ 検索結果一覧のアイコン【目次を開く】をクリックすると、資料の要旨・目次が表示されます。

お知らせ

○名女大読書プロジェクト

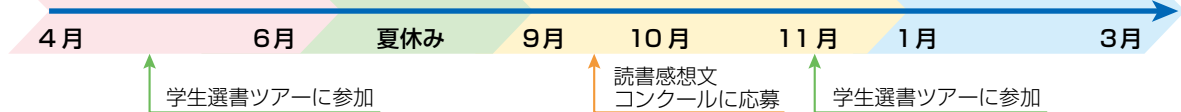
名古屋女子大学 図書館では、皆さんの読書を応援する活動「名女大読書プロジェクト」を実施しています。読書 Diary に本の感想を書いたり、読んだ本を友達と共有したり、さまざまな読書イベントを通じて読書の輪を広げる活動です。

読書 Diary

「本を読む」→「感想を書いて提出する」→「感想が公開される」……という読書サイクルを続ける活動です。平成 24 年度に短期大学部から始まり、平成 27 年度からは大学全体で活動を展開しています！皆さんで感想を共有して、読書の楽しみを広げていきましょう。

《1年間の活動の流れ》

本を読んで読書 Diary を提出する！



学生選書ツアー

学生選書ツアーは自分が読みたい本、友達に薦めたい本を直接書店に行って購入するツアーです。選書した本はPOPを作って図書館に展示します。他学部、他学科の学生との交流がもてるイベントで春と秋の年2回開催しています。



読書感想文コンクール

読書感想文コンクールでは、「名女大生に贈る名著」として皆さんに読んでもらいたい9作品が課題図書として選定されています。社会人として必要な文章力や表現力を醸成するための良い機会を積極的に活用しましょう。コンクール優秀作品には表彰と副賞が授与されます。



図書館サポーター “ちえりっぷ”

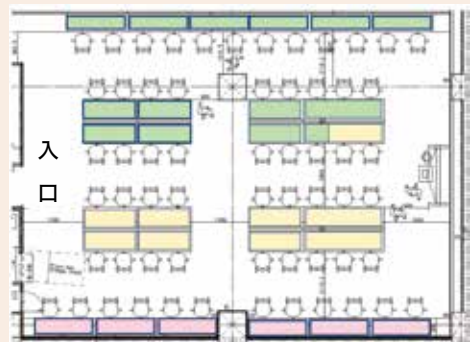
図書館サポーター「ちえりっぷ」は図書館のイベントや展示を企画実行する学生ボランティア活動です。図書の寄付による社会貢献活動や、名古屋市内の3女子大学図書館サポーター交流 (Girls of Three) や書店連携フェアの開催など、活動の幅をどんどん広げています！



○図書館棟コンピュータ自習室のソフト配置案内

図書館棟 2 階の 210 コンピュータ自習室のソフト配置が今年度より変わりました (右図)。

エクセル栄養君を使用できるパソコンが中央部分に移っています。図の黄色で色分けされた席のパソコンでエクセル栄養君が利用できます。黄色部分のパソコンでは、それ以外に、DRA-CAD、AutoCAD、SPSS、4DBox PLANS、Visual Basic が利用できます。詳しくは、自習室の掲示で確認してください。



図書館棟 210 コンピュータ自習室

名古屋女子大学 学術情報センターだより 第 68 号 発行日：2017 年 6 月 5 日

発行：名古屋女子大学学術情報センター
〒467-8610 名古屋市長穂区汐路町 3-40

● 図 書 館 TEL (052) 852-9768
● シ ス テ ム サ ー ビ ス TEL (052) 852-1120